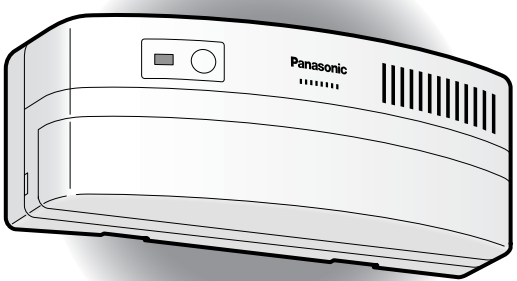
Panasonic

取扱説明書

# 小電力型 ワイヤレス熱線センサー送信器

品番 **ECD3420A**
品番 **ECD3420AP**
（屋側用）（受信器連動警報機能付）（グレイッシュブラウン）

品番 **ECD3420H**
品番 **ECD3420HP**
（屋側用）（受信器連動警報機能付）（アイボリーグレー）




このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

施工説明付き

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
  **ご使用前に「安全上のご注意」（3ページ）を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書をお渡しください。
- 万一、取扱説明書にしたがわず使用された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

## ●ご使用前に

●この商品は、受信器と組み合わせて使用することにより、送信器からの警報・報知を受信器側でお知らせする商品です。なお、この商品は電波法で認められた「小電力セキュリティシステムの無線局」です。

**●本システムは人命保持や盗難事故を完全に防ぐものではありません。あくまでも補助的なシステムです。万一、本システムの稼働中に人命・財産などに対して損害が生じても弊社は一切の責任は負い兼ねますのでご了承ください。**

**付 属 品**

●リチウム電池(CR123A) …… 1コ
●取付用なべタッピンネジ(4×20) ……2本
●両面テープ …… 2枚
●取扱説明書(本紙) ……1冊

**おことわり**

●送信器は、総務省の技術基準に適合しています。商品に貼り付けられている表示(㊣マーク)は、その証明マークです。表示マークの貼り付けられている商品は総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。

**改造すると法律により罰せられることがあります。**



## ●もくじ

●ご使用前に ……1
●安全上のご注意 …… 3
●ご注意……4〜6
●取付上のご注意……7
●熱線センサーについてのご注意…8〜10
●各部のなまえとはたらき …… 11
●登録および設定方法 …… 12〜16
1 周波数チャンネルを確認する ——— 12
2 送信器に電池を入れて、受信器に登録する ——13・14
3 電波の到達を確認する ——— 15・16
●取付方法……17・18
●検知範囲の調整方法……19〜24
検知範囲の確認 ——— 23・24
●使い方……25・26
●故障かな？と思われたら……27・28
●リチウム電池の交換方法……29
●仕　様……30

## ●安全上のご注意

### 必ずお読みください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

**■誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

**■お守りいただく内容を次の記号で説明しています。**

| | |
|---|---|
| ❗ | 実行しなければならない内容です。 |

**⚠注意**

❗ 必ず守る

**リチウム電池は極性に注意して、表示通りに入れる。**
極性を間違えると、リチウム電池の破裂や液もれの原因となります。

**確実に固定する。**
固定に不備があると、落下によるけがの原因となります。

## ●ご 注 意

■この商品は不審者を検知して音で警告し屋内に知らせる機能を持っていますが、侵入・盗難を阻止する商品ではありません。発生した損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

■送信器は軒下などの屋側(家の外側壁面)で使用してください。とくに直接雨のかからない場所、および太陽光が直接当たらない場所への取り付けをおすすめします。(8〜10ページ参照)

■受信器と送信器の電波の到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離約100mです。
(電波が届きにくい場合は中継器(別売)をご使用になり、動作を確認してください。)

■下記のような使用場所の環境では電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますので注意してください。

- ●機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- ●機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- ●機器の周辺が金属物で囲まれている。
  (スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど)
- ●金属物の壁面に機器を取り付けている。
- ●操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- ●電子レンジやパソコンなどの家電商品やOA機器が機器の2m以内にある。
- ●機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- ●機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
- ●機器の近く(10m以内)で、マイクロ波治療器を使用している。
- ●近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

■設置場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。
設置後、使用環境(電波環境)が変わることがありますので、定期的に動作確認を行ってください。

## ご注意

■受信器と送信器は50cm以上離してください。
■送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため送信器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。
■この商品は、強風や周囲の環境による温度上昇や障害物により頻繁に動作し、電池寿命が短くなる場合があります。
設置場所には十分注意してください。また、雨の降り始めにカバーに水滴が付着したり、地面が水でぬれたりして、温度変化を検知すると、動作する場合があります。
■送信器は防雨構造になっていますが、ホースなどで故意に水をかけないでください。
■送信器に雪がつもるような場所でのご使用は、誤動作したり動作しない場合があります。送信器に雪がつもらないように配慮してください。
■送信器に衝撃を与えないでください。落としたり、窓を強く開閉すると、誤動作や破損の原因となります。
■送信器は1度検知して送信すると約10秒間経過しないと次の検知動作はしません。
■2台以上の送信器から同時に操作すると、受信器は動作しないことがありますが、故障ではありません。
■送信器は約7時間ごとに自動的に電波を送信しています。
電池切れが近くなると受信器に電池切れ信号を送信します。



## ■組み合わせ可能な受信器・中継器

●下記の商品と組み合わせて使用してください。
●ご使用の際にはその商品に付属の説明書を参照してください。

（2008年7月現在）

| 品　名 | 品　番 |
|---|---|
| 小電力型ワイヤレスセキュリティ受信器 | ECD1101<br>ECD5101 |
| 小電力型ワイヤレス中継器 | ECD3100 |

## お手入れ

**●ふだんのおそうじは…**
やわらかい布でふき取ってください。

**●汚れが目立つときは…**
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使わないでください。

注 **ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。**

## ●取付上のご注意

### ■人などが検知範囲を横切るように取り付けてください。

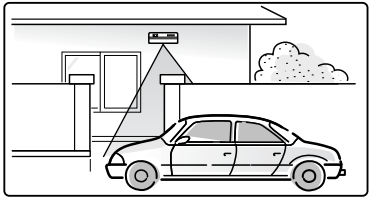
（19ページ参照）

### ■検知範囲を正しく設定してください。

（検知範囲は19～24ページ参照）

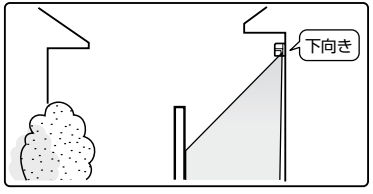
●検知範囲の延長線上に動くものを置かないでください。
検知する場合があります。
（例：植木・自動車・洗濯物・通行人・犬小屋など）

●検知範囲が敷地外に出ないように設定してください。
検知する場合があります。



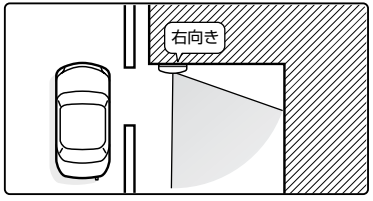
取付例 ❶

隣家に検知範囲が出ないように垂直方向を調整してください。




取付例 ❷

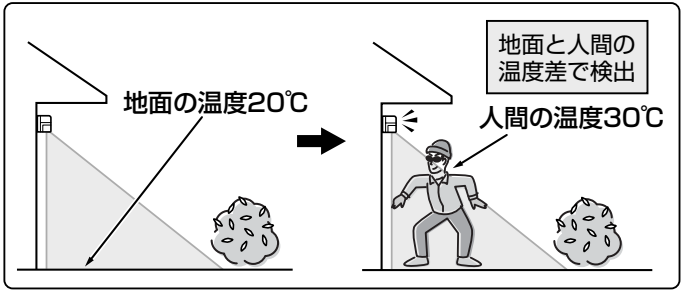
道路に検知範囲が出ないように水平方向を調整してください。






## ●熱線センサーについてのご注意

### ■熱線センサーは、物体（地面や壁など）の温度と人の温度の「温度差」を検出します。




●熱線センサー送信器は検知範囲内の温度変化分（3℃以上）を検出する方式の商品です。何らかの要因で検知範囲内の温度が急に変わったときは動作をしたり、人が通っても温度変化として検出できないときは検知動作しない場合があります。

●検知範囲内であっても、人が静止している場合は、検知動作しません。

●検知範囲は、背景と検知対象物の温度差および、移動スピードにより、検知距離以上でも検知する場合があります。

●熱線センサー表面やカバー表面に汚れが付着した場合や、検知対象物の動作などにより、検知性能が低下することがあります。

●熱線センサー表面やカバー表面が凍結した場合は、動作しないことがあります。

●熱線センサーはガラスごしには検知しません。

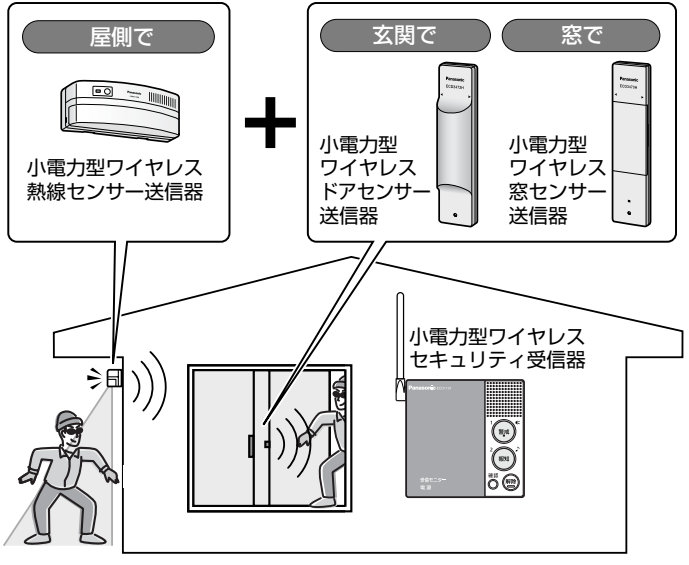
●感度切替スイッチを「高」側に設定すると、小動物などを検知する可能性があります。

## 熱線センサーについてのご注意

### ■次のような環境では人を検出しない場合があります。

- ●夏場など、気温が体温に近づいているとき。
- ●冬場など防寒着や手袋などで身体を覆っているとき。
- ●傘などで身体を覆っているとき。
- ●検知範囲が真下を向いているとき。

### ■熱線センサー送信器使用時、ドアや窓の侵入警戒も同時に行うことをおすすめします。



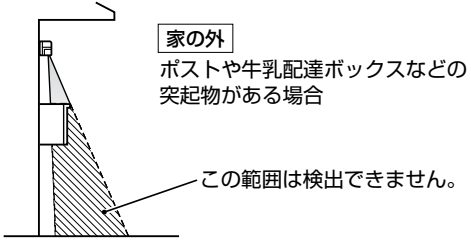



### ■次のような場所には取り付けないでください。

（検出しなかったり、誤動作の原因となります。）

#### 人の動きを検出しない場所

**●検知範囲内に障害物のある場所**

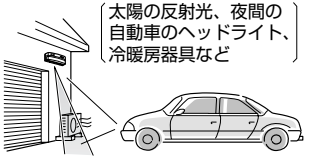



#### 誤動作しやすい場所（頻繁に動作すると、電池寿命が短くなります。）

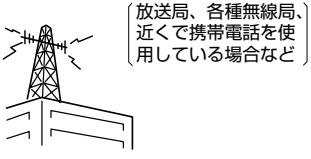
**●検知範囲内に動くものがある場所**
**●振動や衝撃の影響を受ける場所**

**●検知範囲内で急激な温度変化がある場所**

**●直射光・反射光の当たる場所**
**●室外機の風が直接当たる場所**

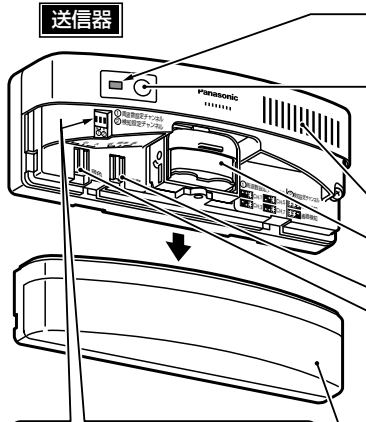



**●電気的雑音の発生源の近く**



# ●各部のなまえとはたらき

**小電力型 ワイヤレス熱線センサー送信器**
**（屋側用）（受信器連動警報機能付）**
（グレイッシュブラウン）（ECD3420A・AP）／（アイボリーグレー）（ECD3420H・HP）




**動作表示灯**
●検知したとき赤色点滅します。

**登録送信ボタン**
●受信器に登録するときや、送信器を検知テストモードにするときに使用します。

**ブザー**

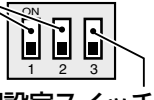
**熱線センサー**
注 一度検知すると、約10秒間は検知しません。

**感度切替スイッチ**
●熱線センサーの検知感度を3段階（低・標準・高）で切り替えます。
（出荷時：標準）

**音色設定スイッチ**
●音色設定をします。
（出荷時：A）
（25ページ参照）

**カバー**
●はずし方は12ページ参照

**周波数設定スイッチ**
●周波数チャンネルを設定するときに使用します。
（出荷時：CH.1）




**検知設定スイッチ**
●検知動作を設定するときに使用します。
（出荷時：通過検知）
（26ページ参照）



# ●登録および設定方法

設定・登録は次のような流れに沿って行います。

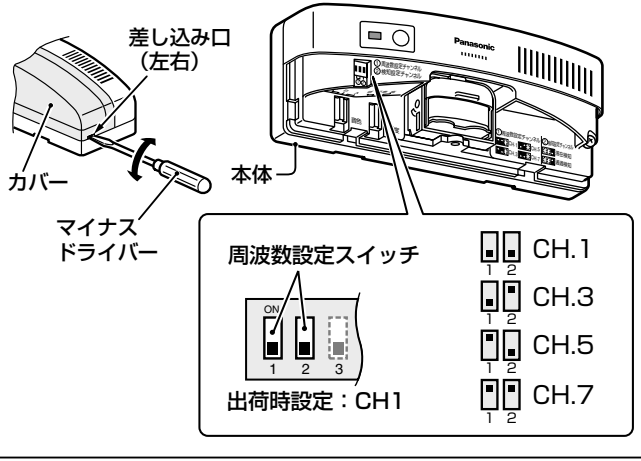
**1** 周波数チャンネルを確認する
**2** 送信器に電池を入れて、受信器に登録する
**3** 電波の到達を確認する

注 送信器は受信器に登録しないと使用できません。

## 1 周波数チャンネルを確認する

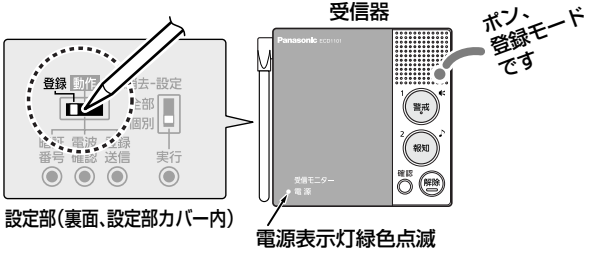
●通常は変更不要です。受信器の周波数チャンネルと違っていれば、周波数チャンネルを変更して、受信器と合わせてください。

送信器 カバーをはずして、周波数設定スイッチを確認してください。



## 2 送信器に電池を入れて、受信器に登録する ー

### ❶受信器のモード切替スイッチを登録モードにする

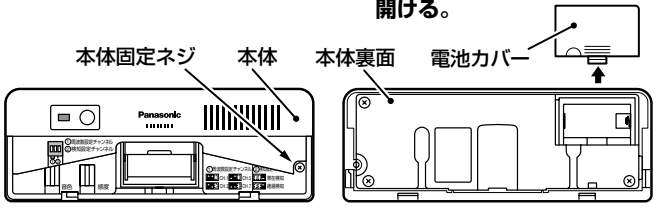



(注) 受信器の操作については、受信器に付属の説明書を参照してください。

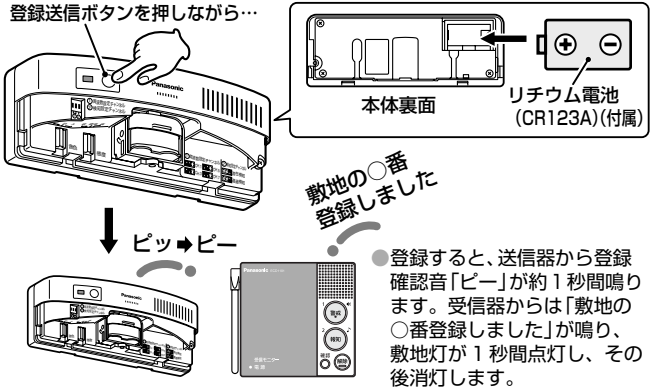
### ❷送信器を登録する

- 送信器に番号シール(受信器に付属)を貼って、番号シールを貼った順に使用する発信器・送信器を動作させてください。
- すでに送信器に電池が入っている場合は、一度電池を取りはずしてください。

**①本体固定ネジをゆるめる。**　**②本体裏面の電池カバーを開ける。**



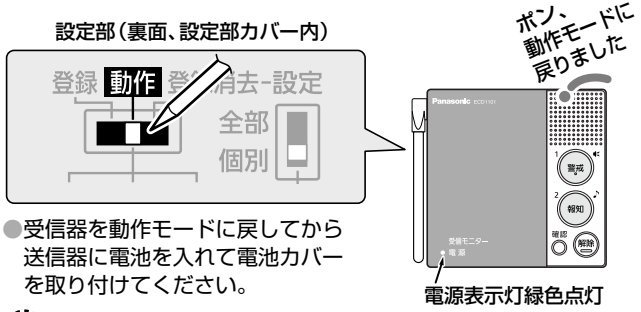

**③登録送信ボタンを押しながらリチウム電池を入れ、そのまま登録送信ボタンを約3秒間押し続ける。**




- 登録すると、送信器から登録確認音「ピー」が約1秒間鳴ります。受信器からは「敷地の○番登録しました」が鳴り、敷地灯が1秒間点灯し、その後消灯します。

**④登録したら、電池を抜く。(誤登録防止、および正常動作をさせるため)**

### ❸受信器のモード切替スイッチを動作モードに戻す




- 受信器を動作モードに戻してから送信器に電池を入れて電池カバーを取り付けてください。

(注) 送信器は電池を入れてから約30秒間は動作しません。

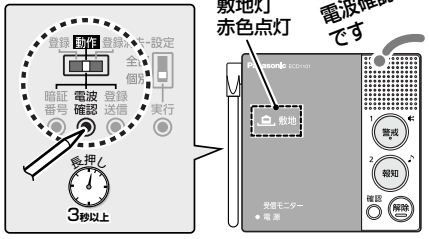
## 3 電波の到達を確認する

注 ●登録後、電波が届くことを確認するために、必ず実際に使用する場所で送信器を動作させてください。
●受信器は非警戒状態にして、確認してください。
警戒セット状態および報知セット状態で確認をすると、警報または報知動作をします。

### ❶ 受信器の電波確認ボタンを3秒以上長押しする

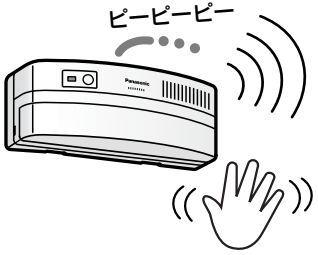
●登録されているエリア灯が赤色点灯します。

注 モード切替スイッチは動作モードで操作してください。




設定部(裏面、設定部カバー内)

### ❷ 登録している送信器を実際に使用する場所で動作させると……




注
●送信器は一度検知すると約10秒間は検知しません。
●登録しているすべての発信器・送信器で電波の到達を確認してください。

### ❸ 受信器で電波状況をお知らせ

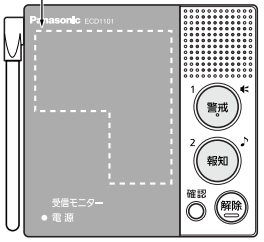
状態表示灯がすべて消灯すれば、すべての発信器・送信器の確認完了

●電波を受信するとエリア名、登録番号と、電波状況をお知らせします。

・電波が正常に届く場合:
(例)「敷地の1番　正常です」

・電波が届きにくい場合:
(例)「敷地の2番　受信できません」

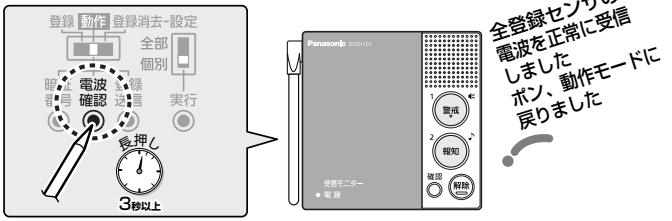
・電波が届かない場合:鳴りません




状態表示灯は、該当エリアに登録されたすべての発信器・送信器の電波を受信すると消灯します。すべての発信器・送信器を動作させたのに、状態表示灯が点灯し続けている場合は、該当エリアに登録されている発信器・送信器の電波を受信できていません。
発信器・送信器の使用場所を変更するか中継器(ECD3100)を設置して、再度電波の到達を確認してください。

### ❹ 受信器の電波確認ボタンを3秒以上長押しする

設定部(裏面、設定部カバー内)



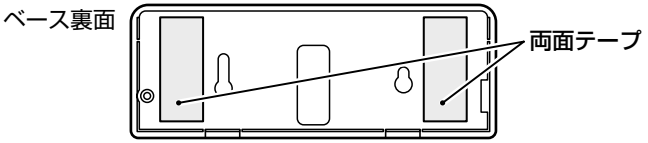
# ●取付方法

(注)送信器の使用場所を変更したときは動作確認をしてください。

## 1 サッシや木枠などにベースを取り付ける

### アルミサッシなどに取り付ける場合

●両面テープ2ヵ所で固定してください。




(注)●貼付位置の汚れを落とし、ぬれている場合は乾かしてから貼り付けてください。また冬期はストーブなどで粘着面を温めてから貼り付けてください。汚れやぬれていたり、粘着面の温度が低過ぎると、粘着力が弱くなり、はずれるおそれがあります。また、凹凸のある壁面に取り付けると、両面テープの接着面が小さくなりはずれるおそれがあります。

●粘着力が強いため、一度貼り付けると取りはずすことが困難なので、あらかじめ貼付位置で動作確認をしてください。

●貼り付け後、はずれないように強く押し付けて、取付状態を確認してください。

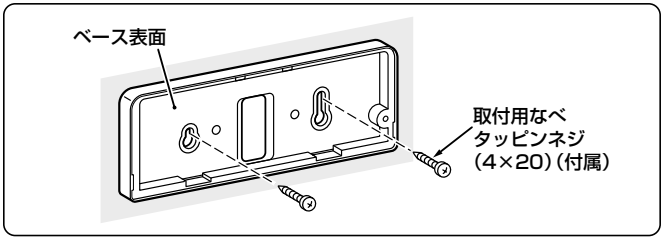
●両面テープは最初は粘着力が弱い場合がありますが、一昼夜程度で十分な粘着力になります。
（商品に強い衝撃を与えないようにしてください。）



### 木枠などに取り付ける場合

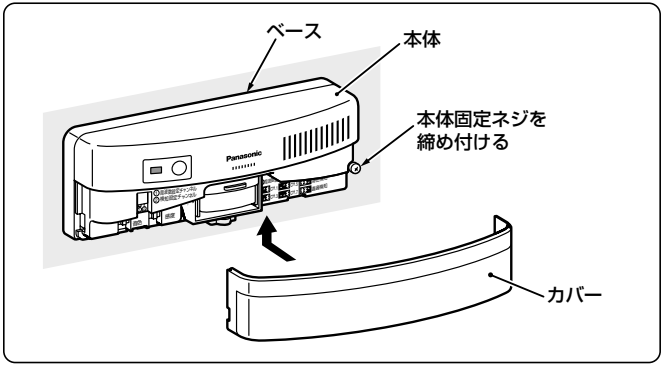
●付属の取付用なべタッピンネジ（4×20）で固定してください。
（両面テープでも取付可能です。）

●石材またはコンクリート材に取り付ける場合は、市販のPYプラグを使用してください。（販売店に相談してください。）



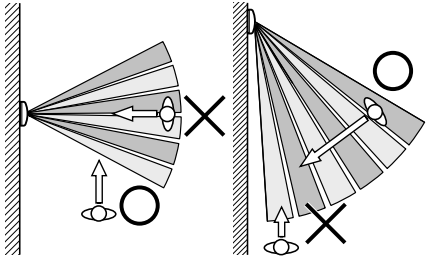

## 2 本体とカバーを取り付ける

(注) カバーを取り付ける前に熱線センサーを動かして検知範囲を調整してください。（19～24ページ参照）



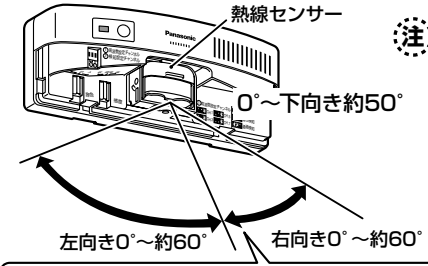
# 検知範囲の調整方法

人が検知範囲を横切るように取り付けてください。図のように本体に向かって歩く向きに設置すると検知しにくくなります。



## 角度調整方法

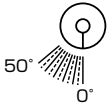
●熱線センサーを動かして検知角度を調整できます。




注 角度調整後は、必ずカバーを取り付けて動作確認を行ってください。（23～24ページ参照）

目盛りは熱線センサー本体に書いてあります。
（数値は表示していません。）

▶側面（左右）目盛り：垂直方向
●約5˚きざみで11段階の調整が可能です。

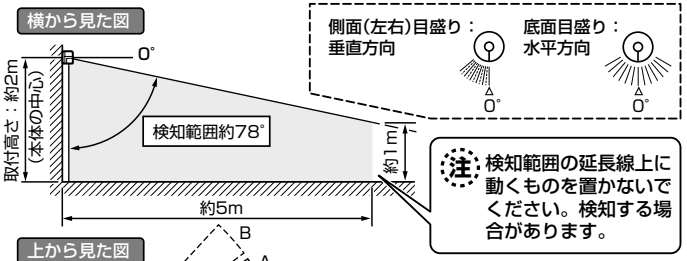



▶底面目盛り：水平方向
●約10˚きざみで13段階の調整が可能です。

## 本体から約5mの範囲を検知したい場合

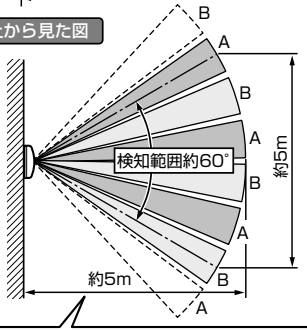
**■垂直方向：0˚（最大上向き）、水平方向：正面0˚に設定します。**

横から見た図



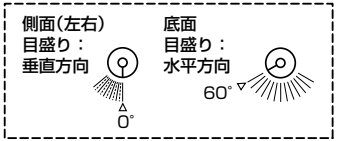

注 検知範囲の延長線上に動くものを置かないでください。検知する場合があります。

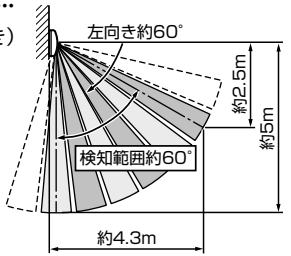
上から見た図




**感度切替スイッチ：「標準」側の場合**
この場合、A、B二つのエリアを通過したときに検知します。
一つのエリアに入っただけでは検知しません。

**例えば、左側だけを検知したいときには…**
水平方向だけを左向き約60˚（最大左向き）に調整すると、検知範囲は右記のようになります。



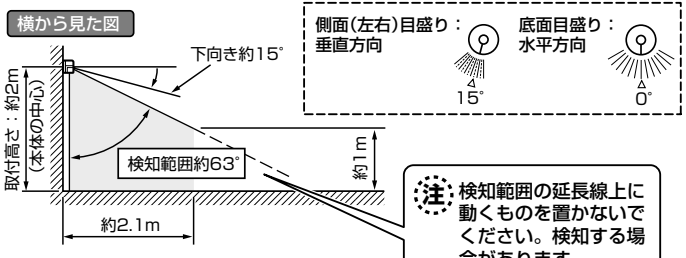



## 検知範囲の調整方法

### 本体から約2mの範囲を検知したい場合

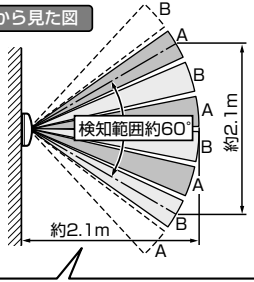
**■垂直方向：15˚、水平方向：正面0˚に設定します。**

横から見た図




注 検知範囲の延長線上に動くものを置かないでください。検知する場合があります。

上から見た図

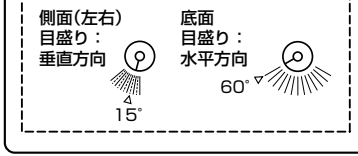


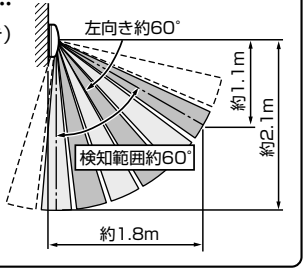

**感度切替スイッチ：「標準」側の場合**

この場合、A、B二つのエリアを通過したときに検知します。
一つのエリアに入っただけでは検知しません。

**例えば、左側だけを検知したいときには…**

水平方向だけを左向き約60˚（最大左向き）に調整すると、検知範囲は右記のようになります。

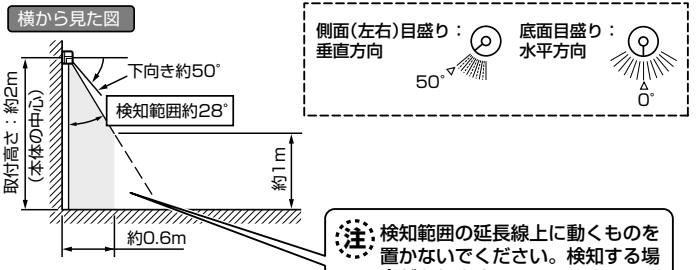



### 本体のほぼ真下(約0.6m)の範囲を検知したい場合

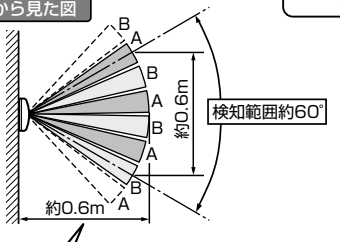
**■垂直方向：50˚、水平方向：正面0˚に設定します。**

横から見た図




注 検知範囲の延長線上に動くものを置かないでください。検知する場合があります。

上から見た図

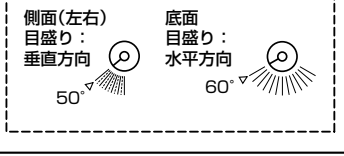


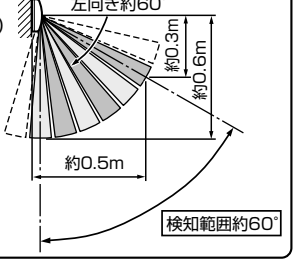

**感度切替スイッチ：「標準」側の場合**

この場合、A、B二つのエリアを通過したときに検知します。
一つのエリアに入っただけでは検知しません。

**例えば、左側だけを検知したいときには…**

水平方向だけを左向き約60˚（最大左向き）に調整すると、検知範囲は右記のようになります。



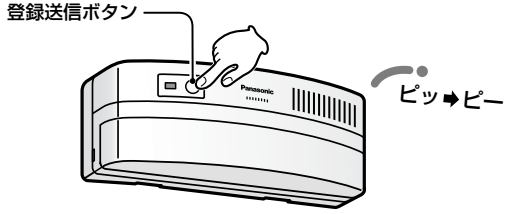



## 検知範囲の確認（検知テストモード）

注 ●必ずカバーを取り付けた状態で確認してください。
●検知設定スイッチを「通過検知」側で確認すると、確認しやすくなります。（26ページ参照）
確認後、検知設定スイッチを使用時の設定に戻してください。
●受信器は非警戒状態にして、確認してください。警戒セット状態および報知セット状態で確認すると、警報または報知動作をします。

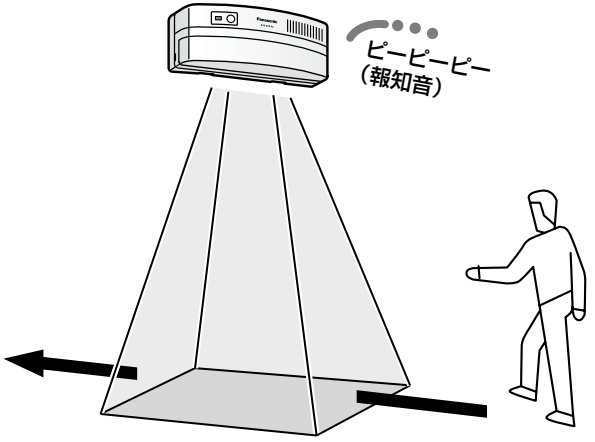
### ❶ 電池を入れ直して、30秒以内に登録送信ボタンを押す（約1秒間）

●「ピッ、ピー」音が鳴り、検知テストモードになります。




### ❷ 送信器を取り付ける

### ❸ 検知範囲内のどこを通過しても送信器から報知音が鳴ることを確認する




### ❹ ❶から約5分間経過すると…

●「ピッ」音が鳴り、検知テストモードは終了します。

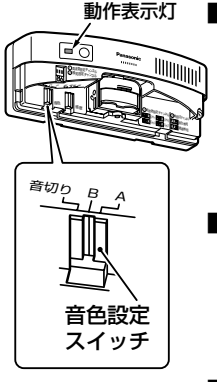
# ●使い方

ここでは送信器の使い方のみを説明します。受信器との組み合わせた動作については、受信器に付属の説明書を参照してください。

## 音色設定スイッチについて

●送信器の鳴動音を設定します。

注 ●警報音・報知音を途中で止めることはできません。
●受信器が非警戒状態では、送信器から音は鳴りません。




### ■音色設定A(出荷時設定)

●受信器が 警戒セット中 に検知すると、約10秒間警報音「ヒュンヒュンヒュン」音が鳴ります。

●受信器が 報知セット中 に検知すると、約3秒間報知音「ピーピーピー」音が鳴ります。

●受信器が 非警戒中 に検知すると、音は鳴りません。

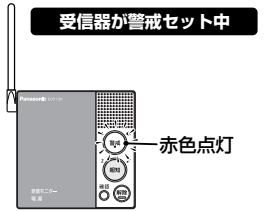
### ■音色設定B

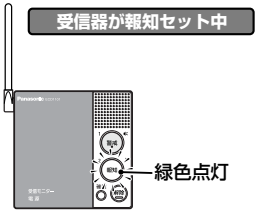
●受信器が 警戒セット中 および 報知セット中 に検知すると、約3秒間報知音「ピーピーピー」音が鳴ります。

●受信器が 非警戒中 に検知すると、音は鳴りません。

### ■音切り

●受信器の状態に関係なく、送信器から音は鳴りません。
(電波は送信するため、動作表示灯は赤色点滅します。)

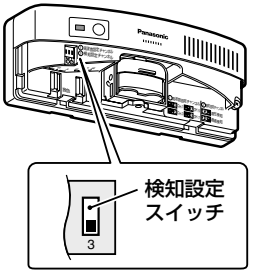





## 検知設定スイッチについて

●検知動作を設定できます。

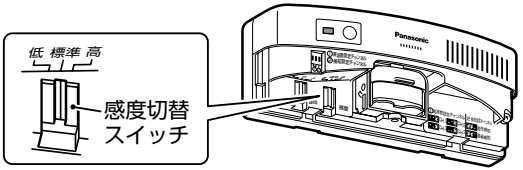



3 **通過検知**(出荷時):検知範囲に人が入ったときに検知します。

3 **滞在検知**:検知範囲で人が約10秒間滞在すると検知します。

注 ●静止した状態では検知しません。
●送信器を検知しないようにすることはできません。
●一度検知すると約10秒間は検知しません。

## 感度切替スイッチについて




●感度切替スイッチで検知感度を設定します。

通常は「標準」側(出荷時)で使用してください。

●検知範囲内に洗濯物や植木などがあると動作します。
この場合は「低」側にしてください。

●動作しにくい場合のみ「高」側にしてください。

注 ただし、「高」側にすると動作しやすくなります。
(頻繁に動作すると、電池寿命が短くなります。)
とくに屋外では、「標準」または「低」側で使用されることをおすすめします。

# ●故障かな?と思われたら

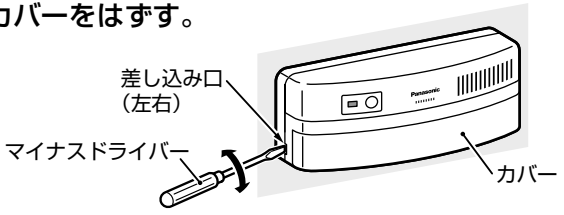
●修理・サービスを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。点検を行っても原因がわからないときには、販売店(施工店)またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

| 状　態 | 点　検 | 処　置 |
|---|---|---|
| 送信器から音が鳴らない | ●音色設定スイッチが「音切り」側になっていませんか？ | ➔「A」側、または「B」側に設定してください。(25ページ参照) |
| | ●受信器が非警戒状態になっていませんか？ | ➔受信器を警戒セット状態、または報知セット状態にしてください。 |
| 送信器を動作させても受信器が動作しないまたはときどき動作しない | ●登録後、電池を入れ直しましたか？ | ➔電池を入れ直してください。 |
| | ●送信器の電池が正しく入っていますか？ | ➔極性を確認して正しく電池を入れてください。 |
| | ●古い電池を使っていませんか？ | ➔新しい電池と交換してください。(リチウム電池品番：CR123A)(29ページ参照) |
| | ●受信器と送信器の周波数チャンネルは同じですか？ | ➔受信器と使用している送信器すべての周波数チャンネルを同じ周波数チャンネルに設定してください。(12ページ参照) |
| | ●送信器は登録されていますか？ | ➔送信器を登録してください。(13～16ページ参照) |
| | ●受信器と送信器の間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がありませんか？ | ➔電波の通しにくい障壁を避けて、動作する場所で使用するか、別売の中継器(ECD3100)を使用してください。 |
| | ●受信器と送信器の近くに、ファクシミリやパソコンなど電波(ノイズ)を出している家電商品やOA機器がありませんか？(※) | ➔電波(ノイズ)を出している家電商品やOA機器の近くを避けて、動作する場所で使用してください。 |
| | ●受信器と送信器の距離が離れすぎていませんか？ | ➔受信器と送信器の距離を近づけ、動作する位置で使用するか、別売の中継器(ECD3100)を使用してください。 |
| | ●送信器の近くで携帯電話やPHS電話を使用していませんか？ | ➔携帯電話やPHS電話を終了させてから、送信器を動作させてください。 |
| | ●送信器の近くにAC100V機器またはAC100V電源線が配置されていませんか？ | ➔AC100V機器、AC100V電源線の近くを避けて、動作する場所で使用してください。 |
| | ●検知範囲内で止まったり、遅い動きや走るような速さで通過していませんか？ | ➔故障ではありません。速すぎる動き、遅すぎる動きは検知できないことがあります。(人の動きなどの温度変化を検出していません。) |
| | ●気温が体温に近くなっていませんか？ | ➔故障ではありません。夏場など気温が体温に近づいたときには、検知しにくくなります。 |
| | ●検知範囲に障害物はありませんか？ | ➔障害物を取り除いてください。 |
| | ●検知窓がホコリや水滴で汚れていませんか？ | ➔やわらかい乾いた布でふき取ってください。(ベンジンなどは引火性があるため使用しないでください。) |
| | ●検知範囲の調整は適当ですか？ | ➔人が検知範囲内のどこを通過しても検知するように検知範囲を再調整してください。(19～24ページ) |
| | ●検知後、10秒以内に検知させようとしていませんか？ | ➔一度検知すると約10秒間は検知しません。 |
| | ●電池を入れてから30秒以内に検知させようとしていませんか？ | ➔電池を入れてから約30秒間は検知しません。 |
| | ●送信器に向かって人が歩く向きに送信器を設置していませんか？ | ➔人が検知範囲を横切るように設置してください。(19ページ参照) |
| | ●検知設定スイッチを「滞在検知」側に設定していませんか？ | ➔滞在検知では検知範囲で人が約10秒間滞在しないと検知しません。「通過検知」側にしてください。(26ページ参照) |
| 頻繁に動作するまたは動作し続ける | ●検知範囲内で何か動くものがあったり、急激な温度変化が起こっていませんか？ | ➔原因となるものを取り除いてください。(8～10ページ参照) |
| | ●雨戸や窓などを開閉していませんか？ | ➔故障ではありません。窓の開閉時に部屋の空気が流れ出しその温度差により動作することがあります。 |
| | ●検知範囲内で洗濯物やゆれているカーテンなどがありませんか？ | ➔洗濯物の干し場所を変更したり、カーテンが窓の外へ出るのを防ぐためアミ戸を閉めてください。または感度切替スイッチを「低」側に切り替えてください。 |
| | ●太陽光の強い反射、ヘッドライトなどの光が当たっていませんか？ | ➔電池寿命が短くなる原因となりますので、設置場所を変更してください。 |
| | ●本体の近くで携帯電話を使用していませんか？ | ➔携帯電話は本体から離れて使用してください。 |
| | ●検知範囲外を通っている人などを検知していませんか？ | ➔検知範囲を再調整してください。5m以上でも検知する場合があります。(19～24ページ) |

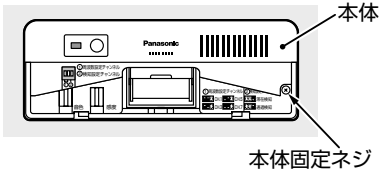
(※)何も操作していないのに、受信器の受信モニターが赤色点灯・点滅している場合は受信器や送信器のまわりにある家電商品やOA機器からの電波(ノイズ)の影響を受けています。

## ●リチウム電池の交換方法

❶カバーをはずす。




❷本体固定ネジを
ゆるめて、本体
をはずす。

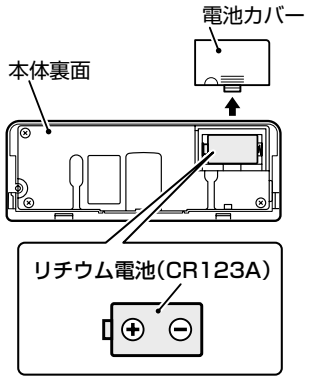



❸リチウム電池1コを入れる。

① 本体裏面の電池カバーを開ける。

② 極性を間違えないようにリチウム電池を入れて、電池カバーを閉める。

注 リチウム電池を入れてから約30秒後に正常動作となります。




## ●仕　様

**■小電力型 ワイヤレス熱線センサー送信器（屋側用）（受信器連動警報機能付）**
**（グレイッシュブラウン）（ECD3420A・AP）**
**（アイボリーグレー）（ECD3420H・HP）**

**屋側用**

| | |
|---|---|
| 電　　源 | リチウム電池（CR123A）×1コ |
| 動作電圧範囲 | 2.2V～3.5V |
| 消 費 電 流 | 動作時　50mA以下　　待機時　20μA以下 |
| 使用周波数 | CH.1（426.7625）MHz<br>CH.3（426.7875）MHz<br>CH.5（426.8125）MHz<br>CH.7（426.8375）MHz<br>の1波　※周波数設定スイッチで選択 |
| 電波の到達距離 | 障害物のない場所での水平見通し距離 約100m<br>（周囲環境により異なります。） |
| 音量（前方1m） | 警報音：約85dB　　報知音：約65dB |
| 音　　色 | 警報音：「ヒュンヒュンヒュン」音（約10秒間鳴動）<br>報知音：「ピーピーピー」音（約3秒間鳴動） |
| 送 信 出 力 | $10mW^{+20\%}_{-50\%}$ |
| 検 知 距 離 | 最大5m |
| 検 知 速 度 | 0.3m/秒～1.5m/秒 |
| 検知エリア可変範囲 | 上下：約50°　左右：約60°<br>（上下約5°、左右約10°きざみで調整可能） |
| 電 池 寿 命 | 約1年（10回／1日） |
| 使用温度範囲 | −10℃～+50℃<br>注 −10°以下では動作しないことがあります。 |
| 寸　　法 | 高さ：約62mm　幅：約170mm　奥行：約52mm |
| 質　　量 | 約220g（電池も含みます。） |

便　利　メ　モ　（おぼえのため、記入されると便利です。）

| | | | |
|---|---|---|---|
| お買い上げ日 | 年　月　日 | 品　番 | |
| 販　売　店　名 | 電話（　　）　　ー | | |
| お客様ご相談窓口 | 電話（　　）　　ー | | |

パナソニック電工株式会社　HA・セキュリティ事業部
〒514-8555 三重県津市藤方1668
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008
8A2 S56 00003 M0906-20708A